

問4 養成校との連携について伺います。

4-① 養成校から実習教育に関する方針等がどのように示されていますか（複数回答可）。

1. 教育機関による説明会
2. 文書、手引き等の送付
3. 口頭・電話
4. 特に行われていない
5. その他（ )

4-② 教育機関へ連絡を取るのはどのような時ですか（複数回答可）。

1. 実習生の実習に対する取り組みが曖昧なとき
2. 実習の継続が難しいとき
3. 実習生の態度が実習にそぐわないとき
4. 実習プログラムに変更があったとき
5. 実習日程の変更があったとき
6. 実習生に事故があったとき
7. 実習の評価が難しいとき
8. 実習指導に悩んだとき
9. その他（ )

問5 実習中の事故発生時の対応については、どのような備えをしていますか。

1. 組織内にマニュアルがある
2. 担当部署で決めている
3. 都度対応する
4. 対応方法を検討中
5. 想定していない
6. その他（ )

### 《Ⅲ》実習プログラムについて

問1 実習開始前にオリエンテーション（実習事前訪問）についてお伺いします。

1-① 実習開始前にオリエンテーション（実習事前訪問）を実施していますか。

1. 実施している → 1-②
2. 実施していない → 1-③

1-② 「実施している」場合、その目的は何ですか（複数回答可）。

1. 顔合わせ
2. 事務連絡
3. 施設理解
4. 実習生の緊張の軽減
5. 実習日時の調整
6. 関係部署挨拶
7. 実習目的の明確化
8. 事前学習の提示
9. 実習計画の確認
10. 実習目標のすり合わせ
11. 実習プログラム作成
12. その他（ )

1-③ 「実施していない」場合、その理由は何ですか（複数回答可）。

1. 時間的余裕がないため
2. 実習初日に実施
3. 教育機関との連携が取れているため
4. 事前の顔合わせがあるため
5. 必要と感じないため
6. その他（ )

問2 実習開始前に実習指導目標（達成目標）を立てていますか。

1. 立てている
2. 特に立てていない

問3 実習プログラムを作成していますか。

1. 作成している → 3-①
2. 作成していない → 3-④

3-① 「作成している」場合、どのような点を重視してプログラムを作成していますか（複数回答可）。

1. 精神保健福祉士の業務理解
2. 施設・機関の概要の把握
3. 精神障害者の現状理解
4. ニーズの理解
5. ソーシャルワークプロセスの理解
6. 精神保健福祉士の倫理や人権擁護意識の醸成
7. ソーシャルアクションの理解
8. ケースワークとコミュニティワークの関連性
9. 学生の目的・ニーズ
10. その他（ ）

3-② そのプログラムは実習期間によって異なりますか。

1. はい
2. いいえ

3-③ 実習プログラム作成で苦慮している点は何ですか（複数回答可）。

1. 学生の希望と施設・機関の限界
2. プログラムの固定化
3. 提供できる資源の少なさ
4. 相談面接場面の提供
5. 他部署とのスケジュール調整
6. その他（ ）
7. 特になし

3-④ 「作成していない」場合、その理由は何ですか（複数回答可）。

1. 実習指導者が固定していない
2. 急な変更が起こるため
3. 時間的な余裕がないため
4. 随時課題を確認するため
5. その他（ ）

問4 実習内容として実施しているものについて、該当するものを選んでください（複数回答可）。

1. 病院・施設の機能の説明
2. 病気や治療についての説明
3. 精神保健福祉士の業務についての説明
4. 病棟・DC等での利用者とのコミュニケーション
5. 個別面接への同席
6. 訪問看護・在宅訪問への同行
7. 実習生単独での面接
8. グループワークへ参加
9. 家族会・家族教室の参加
10. 他施設・他機関訪問
11. 当事者会・セルフヘルプグループへの参加
12. 院内行事・レクリエーションの参加
13. 専門療法参加（作業・SST・心理療法など）
14. 日中活動・作業への参加
15. スタッフミーティング・ケースカンファレンスへの参加
16. 施設行事参加
17. ケア会議への参加
18. 地域交流事業・普及啓発事業
19. 地区等における研修会への参加
20. その他（ ）

問5 実習中の個別担当についてお伺いします。

5-① 実習生に特定の利用者を担当する機会を提供していますか。

1. している →  5-②
2. していない →  5-④

5-② 「している」場合、どのようなかたちで実施していますか（複数回答可）。

1. 個別面接場面の提供
2. 個別面接以外の情報収集の機会提供
3. 模擬アセスメントの実施
4. 模擬ケア計画作成の指導
5. その他（ ）

5-③ 個別担当する目的として最も重要視しているものは何ですか（1つ）。

1. 利用者理解
2. 精神保健福祉士業務の理解
3. 面接技術の獲得
4. 利用者との支援関係構築のプロセス理解
5. その他（ ）

5-④ 「していない」場合、その理由は何ですか（複数回答可）。

1. 実習期間が短い
2. 学生の学習不足
3. 利用者への影響を考慮
4. 他職種の理解・協力不足
5. 実習指導者の指導時間の問題
6. 実習指導者の力量不足
7. 施設機能の特性
8. 必要性を感じない
9. その他（ ）

#### 問6 実習評価について

6-① 実習評価の際、実習指導者以外の意見を取り入れていますか。

1. はい → 「はい」の場合それは誰ですか（複数回答可）。
  1. 他の精神保健福祉士
  2. 施設・機関の管理者
  3. 関係職種
  4. 利用者
  5. 実習生
  6. その他（ ）
2. いいえ

6-② 実習の評価を行う際、最も重視している点は何ですか。（3つまで）

1. 利用者の理解
2. 自己覚知の進み具合
3. 実習生自身の課題達成
4. 精神保健福祉士の業務理解
5. 精神保健福祉の現状把握
6. 実習指導者の目標達成
7. 他職種からの評価
8. 利用者からの評判
9. 意欲・取り組み姿勢の変容
10. 実習生の社会人としての基本的な態度の獲得
11. その他（ ）

#### 《Ⅳ》実習スーパービジョンについて

問1 学生との実習スーパービジョン（日々の振り返り）について伺います。

1-① 学生との実習スーパービジョンの時間を設けていますか。

1. 設けている →  1-②
2. 設けていない →  1-④

1-② 「設けている」場合、定期的に行っていますか。

1. 毎日
2. 2日に1回程度
3. 3日に1回程度
4. 1週間に1回程度
5. 実習期間中に2～3回程度
6. 実習期間中に1回程度
7. その他（ ）

1-③ 1回の時間はどの程度ですか。

1. 10分程度
2. 10～20分
3. 20～30分
4. 30～45分
5. 60分程度
6. 60分以上

1-④ 「設けていない」場合、その理由を教えてください。

( )

**問2 実習終了時の実習スーパービジョンについて**

2-① 実習終了時に実習全体の実習スーパービジョンを行っていますか。

1. 行っている → **2-②へ**      2. 行っていない → **問3へ**

2-② 「行っている」場合、何を行っていますか（複数回答可）。

1. 実習生と指導者の振り返り      2. 実習生と関係職種との振り返り  
3. 個別担当事例のまとめや発表      4. 実習にかかわった他職種との会議  
5. 実習指導者以外のPSWとの会議      6. 機関全体での会議  
7. 担当教員との連絡      8. 実習報告会への参加  
9. その他 ( )

**問3 実習スーパービジョンについて学生の知識など理解度を確認しますか。**

1. 実習生に確認をする      2. おおまかな実習スーパービジョンの説明を行う  
3. 養成機関に確認      4. 特に学生の理解度は確認しない  
5. 養成機関で教育を受けていることを前提としている      6. その必要を感じていない  
7. その他 ( )

**問4 実習スーパービジョンの際、どのような点に焦点を当てていますか（3つまで）。**

1. 利用者理解      2. 利用者との関係形成      3. 実習施設の理念・サービス内容の理解  
4. 個別ニーズの理解      5. 実習目標の達成度      6. 権利擁護意識  
7. 実習口誌の記載内容      8. 実習課題の整理（理解）      9. 社会資源の理解  
10. 実習に必要な知識の習得      11. 社会福祉の人材養成      12. 実習生の学習能力  
13. 実習生の長所の助長      14. 実習生の個人的体験や感情の整理  
15. その他 ( )

**問5 実習スーパービジョンの際、実習記録はどのように活用していますか。**

1. 毎日の記録に基づいて行っている      2. 実習記録は補助的に利用している  
3. 日々の出来事に沿って行っているので参考程度に活用  
4. 実習記録に反映させるスーパービジョンを行っている      5. あまり活用していない  
6. まったく活用していない  
7. その他 ( )

**問6 実習スーパービジョンの際、実習指導者の実践記録（ケース記録等）を提示することはありますか。**

1. よく提示する      2. 時折提示する      3. あまり提示しない  
4. ほとんど提示しない      5. まったく提示しない

問7 実習指導に対する自己評価について

7-① 実習指導に対する自己評価を行っていますか。

1. 行っている → 7-②へ 2. 行っていない → 問8へ

7-② 「行っている」の場合、それはどのように行っていますか。

1. 実習指導に関するスーパービジョンを受けている  
2. 教育機関との事後評価の中で行っている 3. 実習指導者の自己評価表を作成している  
4. 組織の中で会議を行っている 5. 上司と行っている 6. 同僚と行っている  
7. その他 ( )

問8 実習指導の負担感について

8-① 実習の受け入れを負担に感じたことがありますか。

1. ある → 8-②へ 2. ない → 問9へ

8-② 「ある」場合、どのようなことを負担と感じていますか。

1. 時間的余裕 2. 実習指導者としての力量不足 3. 実習指導者としての指導力不足  
4. 所属機関の理解不足 5. 上司の理解不足 6. 同僚の理解不足  
7. 他職種への理解不足 8. 利用者の理解不足 9. 業務として位置づけられていない  
10. 教育機関との連携 11. 実習生の態度、意欲 12. 実習生が多い  
13. 相談できる人がいない 14. 実習委託費が安い  
15. その他 ( )

問9 実習を受け入れてよかったと考える点はどのような点ですか。

1. 自己の実践の振り返り 2. 実習指導者の自己覚知 3. 後進育成への貢献  
4. 実習指導者自身の言語化 5. 自己のスーパーバイザーとしてのスキルアップ  
6. 業務の整理、見直し 7. 利用者の意識の変化 8. 自己研鑽  
9. 所属機関の実習に対する意識の変化 10. 他職種への精神保健福祉士の理解の向上  
11. その他 ( )

◎本アンケートについてご意見があればご自由にお書きください。

( )

ご協力ありがとうございました。返信用封筒に入れて、ご返送ください。

2009年12月1日作成/500部

JAPSW 発第 09-291 号  
2010 年 1 月 15 日

社団法人日本精神保健福祉士協会 構成員 各位

社団法人日本精神保健福祉士協会  
会長 竹中秀彦 [公印略]

「精神保健福祉援助実習における実習指導の効果及び  
実効性に関する現況調査」への協力をお願い

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃より、本協会事業に格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本協会では、今年度、厚生労働省の障害者保健福祉推進事業（障害者自立支援調査研究プロジェクト）（補助金事業）としまして、「精神保健福祉士養成カリキュラム改正に伴う実習指導者・教員養成研修のプログラム開発事業」（以下「本事業」という。）に取り組んでおります。

この度、本事業の一環としまして、標記の「精神保健福祉援助実習における実習指導の効果及び実効性に関する現況調査」（以下「調査」という。）を実施させていただくことになりました。

調査の対象者は、本協会の構成員データにより、資格登録から 2 年以内で各種精神保健福祉現場に所属されている方を、全都道府県から数名ずつ無作為抽出した方々です。調査の実施には、個人名及び所属機関名は無記名とし、結果は統計的に処理させていただきます。ご協力をいただいた方や所属機関にご迷惑をおかけすることは一切ありません。

つきましては、調査の趣旨をご理解いただき、率直なご回答をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

業務ご多忙な時期かと存じますが、2月6日（土）までに同封の返信用封筒にて、本協会事務局宛にご返送ください（大変恐縮ですが、集計作業等の都合上、ファックス、Eメール等でのご返送はご遠慮ください）。

なお、本調査の集計分析結果は、厚生労働省に報告書として提出するほか、構成員各位にもご報告させていただく予定です。

何卒ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

【問い合わせ】

社団法人日本精神保健福祉士協会 研修センター長  
田村綾子

〒160-0015 東京都新宿区大京町 2 3-3  
四谷オーキッドビル 7 F

TEL. 03-5366-3152 FAX. 03-5366-2993

E-mail : office@japsw.or.jp